

令和7年3月26日

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

代表取締役社長 野崎 秀則

AIとビッグデータを活用した交通事故対策の提案について

～「交通安全インサイト」と「交通事故AI分析」の活用によるKDDIとの共同提案～

株式会社オリエンタルコンサルタンツ（代表取締役社長：野崎秀則）は、「交通安全インサイト」と「交通事故AI分析」を組み合わせることにより、浜松市の小学校周辺においてより危険性の高い箇所を抽出する方法をKDDIと共同で提案しました。

「交通安全インサイト」は、人流や車両のビッグデータと、過去の交通事故統計情報などのデータを分析し地域ごとの危険地点を可視化するソリューションとしてKDDIが提供するものです。

当社は、このソリューションに、浜松市がオープンデータとして提供する「交通事故AI分析」の結果等を組み合わせることで、より危険性の高い箇所を抽出しました。

1. 「交通事故AI分析」について

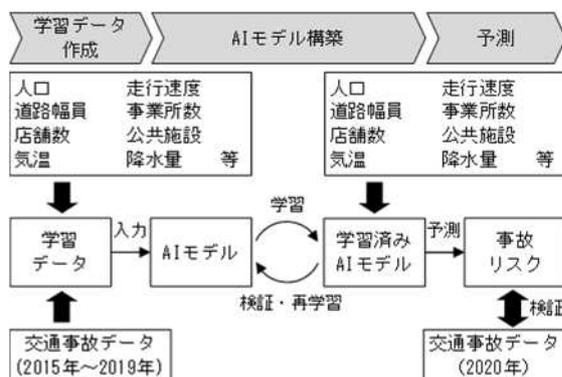
浜松市の「交通事故AI分析」は、浜松市内で多発する交通事故を削減するため、AI（人工知能）技術を活用し、事故危険度予測モデルを構築したうえで、事故リスクの高い箇所を予測し、危険予測箇所マップとして公開しているものです※1。

本マップは、当社が受注した「令和4年度 交通事故データ活用事業 交通事故AI分析業務」の成果の一部をもとにして浜松市から提供されています。本業務で構築したAI分析手法は、交通事故に影響する各種の因子を学習すること（図1）により、事故リスク値をリンク別に算出（図2）するものです。

※1 浜松市「交通事故AI分析」の概要：

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/dourokikaku/aibunseki.html>

【図1：AIによる事故リスク予測の流れ】



【図2：リンク別の事故リスク値の予測結果】



出典）小原拓也・宮崎耕平・松井祐樹・田中淳：浜松市におけるAI技術を活用した事故リスクの予測、令和5年度（第33回）建設コンサルタンツ業務技術発表会

2. 「交通安全インサイト」 + 「交通事故 AI 分析」による交通事故の危険性が高い箇所の抽出及び対策の提案

危険箇所の抽出は、人流データ（歩行者や自転車の通行量）・車両データ（一時停止率）や、警察庁よりオープンデータとして公開されている交通事故データなどから交通事故発生リスクの高い危険箇所を可視化する「交通安全インサイト」に、浜松市がオープンデータとして公開している「交通事故 AI 分析」による危険予測箇所情報を取り込むことで、小学校周辺の交通事故の危険性が高い箇所を予測したものです。

当社は、抽出した交通事故の危険性が高い箇所に対する交通事故対策を検討し、浜松市に提案しました。

【図3：「交通安全インサイト」の概要】



※2 KDDI「交通安全インサイト」の概要：<https://k-locationanalyzer.com/traffic>

【図4：「交通安全インサイト」 + 「交通事故 AI 分析」による分析イメージ】



※「交通安全インサイト」は KDDI 株式会社の登録商標または商標です。

<本資料に関するお問い合わせ先>
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011
<https://www.oriconsul.com/>
統括本部 伊藤・日原・丸山・門司